

ガタガタ通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No. 2
2000・初夏の号
発行
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35
(足利方) 0979-23-5320

中津干潟は広い!! どのくらい広いかといふと、東浜と大新田の沖だけでも、福岡ドームの150倍くらいあるんだよ。

でも、ここにすんでるカブトガニの幼生はとつてもちいちゃい!! 大人のカブトガニはでつかいけれど、干潟にすんでいるのはまだ子ども。からだの大きさは5mmから10cmくらい。しかも泥に潜っているし、ウジャウジャいるほど数が多いわけじゃない。なんてつたって“ゼツメツキグシ(※)”なんだから。

…ってことは、中津の干潟で

カブトガニに会えたなら、

チョーラッキー

なんだね。

今年も
カブトガニに
会えたよ!!



では、定期的に干潟の生きもの調査をしております。
水辺に遊び会は、年に定期的に干潟の生きもの調査をしております。

会員募集中!
年会費1000円
事務局まで
お問い合わせ下さい。

※ゼツメツキグシ(絶滅危惧種)ってナニ?

カンタンに言うと、昔はいっぱいいたのに、気がついたらあまり見かけなくなってきた、このままだと全然いなくなっちゃうかも…。っていう生きものや植物のこと。今年の春、カブトガニも絶滅危惧種に指定された。こりゃ大変ダ!! でも、珍しいから、少ないから、守らなくっちゃ…じゃないんだよ。まだまだたくさんいる生きものだって大切な地球の仲間。そして、そんな生きものたちが安心してくらしていける自然を壊さないことが大切なんだ。もちろん、人間だって大切な地球の仲間だよ。

■水辺に遊ぶ会の活動報告

(2000.1.1~2000.5.31)

2000.1.30 ズグロカモメ観察会

2000.2.27 流入河川水質調査

2000.3.19~20 第12回九州琉球湿地

ネットワーク中津会合

(干潟を守る日参加イベント)

19日・干潟観察会

20日・シンポジウム

講師: 山下弘文さん

山下博由さん

ゲスト: 佐藤慎一さん

恒遠俊輔さん

2000.4.16 海の生きものビデオ上映会

ゲスト: 土屋康文さん

協力: オフィスKAMEI

2000.4.23 流入河川水質調査

2000.5.3 干潟観察会&貝掘り

2000.5.6 干潟生物調査

2000.5.7 カブトガニ調査

2000.5.21 干潟生物調査(予定)

2000.5.28 三百間ラグーン探検観察会

ゲスト: 花輪伸一さん(予定)

★入会してくださった皆さん

イベントに参加してくださった皆さん

イベントにご協力くださった方々

カンパをいただいた方々

切手・封筒などご提供くださった方々

貴重なお話を下さった方々

心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

今後もよろしくお願ひいたします。

「ガタガタ通信」次回は
2000年夏発行だよ!!

オタノシミニ

みなさんからのお便りや
イラストまってます!!

■歩いて歩いてたどり着いた
中津干潟の果ては海だつた
あたりまで? でも、(あ)
あとは食い気と体力増強のみ。
帽子、リュックは揃つた品、
長ぐつ、日焼け止め化粧品、
あたな所だったのよ。(う)とてたい。

みたより紹介しまーす!

～潮干狩りへ出かけよう～

ゴールデンウィークの真っ只中、皆で貝掘りに行きました。いつもは数えるほどしか見かけない人も、さすがにその日はいっぱい。5月のさわやかな風と青い空。足元までしかない海水をじゅぶじゅぶけて、どんどん沖へ。いつもは入れない海の中が歩けちゃうんだから、とっても不思議な気分。

遠くからは漁をする船の音。すぐ近くで忙しそうにエサをついばむ鳥たちがチヨコチヨコ。「何か捕れました?」「おもしろい道具ですね」全然知らない人にも平気で声かけられて、仲良くなって、それに晩御飯のおかずのハマグリも捕れたりして…。海って、自然って、豊かですね。

とっても幸せな一日でした。

★干潟観察会にご参加いただいたS.O.さんから感想をお寄せいただきました。

★大分市のS.S.さんからもおたよりが届きました。

イベントのおしらせ

遊ぼう! カブトガニのすむ浜で!

中津～杵築～臼杵、2泊3日干潟体験ツアー 7月1日(土)～3日(月)
主催: メープルツアーズ 企画: 謙早干潟緊急救済東京事務所・水辺に遊ぶ会
※料金・内容・その他詳細は「水辺に遊ぶ会」まで

夏休み企画・海辺のがっこう(仮称)

7月29日(土)10:00～30日(日)16:00 中津干潟

30時間マラソンイベントを計画中

干潟観察・夜の海中ビデオライブ・浜辺のコンサート・貝の標本作り・海辺のアートに挑戦!など楽しいイベントを計画中!! 詳細は次号でお知らせします。

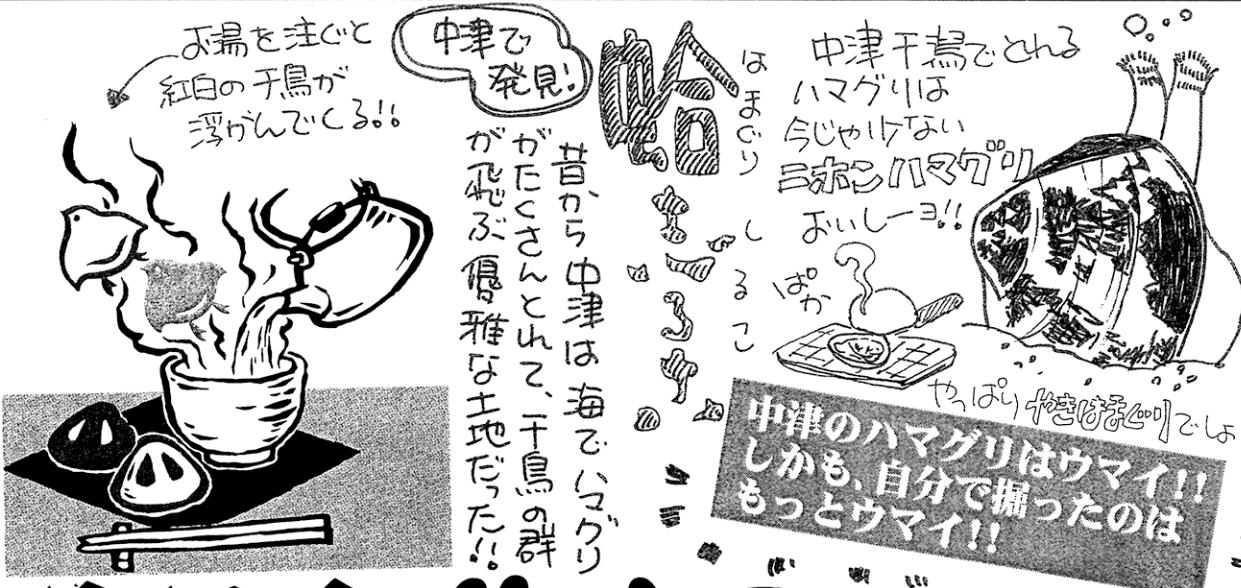
★イベントスタッフとしてお手伝いくださいの方を募集中! ご一報ください。

ホームページものぞいてみてね!!

水辺に遊ぶ会はホームページを開設しています。ご意見・ご感想など、どしどしあ寄せください。URL:<http://www.yukichi.ne.jp/~ashikaga/index.htm>
e-mail:ashikaga@po.yukichi.ne.jp

二子の写真
先日はお世話をなりました。
とても楽しかった。ありがとうございました。
たくさんの子供連れの方々が
とてもうれしいです。

中津市牛神 戸蔵屋さんより取材



今回のテーマ 生きることは食べること!!

大分県杵築市内で
発見した
手づり サブレ!!

かいしゃ
カブトガニ情報
その3

NEW VS 東書ニュービデオソフト 小学校道徳

29 どろんこサブウ

原作・松下隆一 小学校高学年向け 約20分

ビデオ貸し出します

★Satoquoセンセの研究レポート

豊穣な中津干潟と鶏の唐揚の
不思議なカンケイ

中津干潟をいとおしむ1通のお手紙から。戦後の中津には大勢の大陸から引揚者が身を寄せられました。人口が急増した中津の食糧事情は、干潟で誰もがざつくりと採集できた貝類のおかげで救われました。町中に貝塚さながらに捨てられた貝殻を車や人が砕き、白い舗装のようだつたと。中津の地鶏はこの貝殻を食べて美味なる肉となりました。引揚者の郷愁の味、中国や朝鮮半島のスペイスも導入されました。その異文化のスパークで生まれたのが中津名物「鳥の唐揚」。当時の中津は干潟という食料庫が大活躍して、実は栄養満点の理想的な「持続可能な地域社会」だったのかもしません。



むかーしむかし、私たちのご先祖様が、限りなくサルに近かった頃から、海はごちそういっぱいのレストランだったに違いない！

大人も子どもも、釣りや貝掘りに出かけると夢中になってしまうのは、ご先祖様の記憶がよみがえるからかもしれないね。



干潟大好きオジサンの
**「カブトガニを
食べちゃつた思い出**

千潟大好きオジサンの
「カブトガニを食べちゃつた思い出」

小学校の低学年だったと思うので、一九六〇年頃のお話しです。近くの漁師さんからもらつた大人のハチガメを食べたことがあります。甲羅部分には身がないので、食べられるのは脚の部分です。左右に五本づります。カニをゆでて食べるようハチガメもゆでて食べました。味?うーむ‥正直言つて、うまくはなかつたです。ちょっと脂っこく。ジトーとした感じでした。カニやシャコのようにおいしくはなかつた。食べたのはそれきりです。

それから四十年、昨年の八月、中津千潟で産まれて間もない赤ちゃんや、千潟を動き回る小さな小さな子どものカブトガニを見ることができ、大変感動しました。

人類の十倍も前から生きてきて「生きた化石」と呼ばれるカブトガニ。カニの仲間と思っていたら、実はクモやサソリと同じ節足動物だと驚きました。そして何より悲しいことに、絶滅が心配されている生き物になつていることです。四億年も生き続けた動物が生きられない自然環境になつていてることが、とても気がかりです。



発見！ 干鴻に大き

とし物